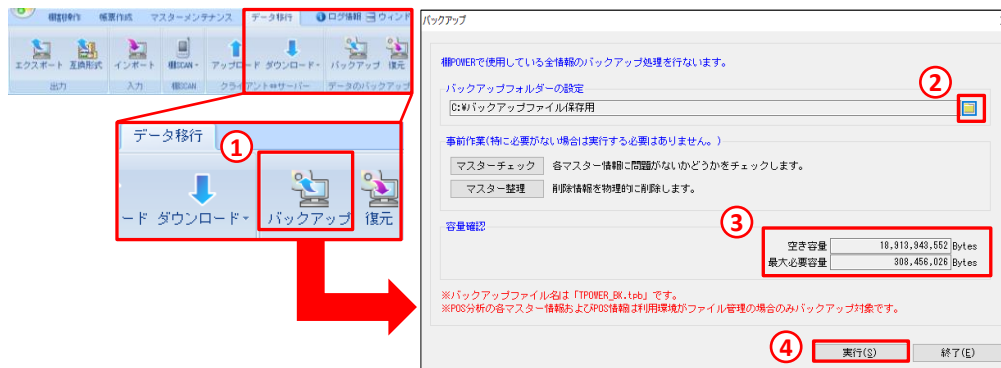


他のパソコンに棚POWERの全データを移行する

パソコンの入換えなどにより、古いパソコン内の棚POWERのデータを新しいパソコンでも利用したいときや、万が一に備えて棚POWERのデータをバックアップしておきたいときに、棚POWERの機能で全データのバックアップを行うことができます。作成したバックアップデータは別のパソコンにインストールした棚POWERで復元して使用できます。

1. 棚POWERの全データのバックアップファイルを作成する

[データ移行]タブ-[バックアップ]よりバックアップを行うことで、棚割モデル情報や商品情報、商品分類など棚POWERに保存されている全データのバックアップファイルを作成できます。



■ 操作手順

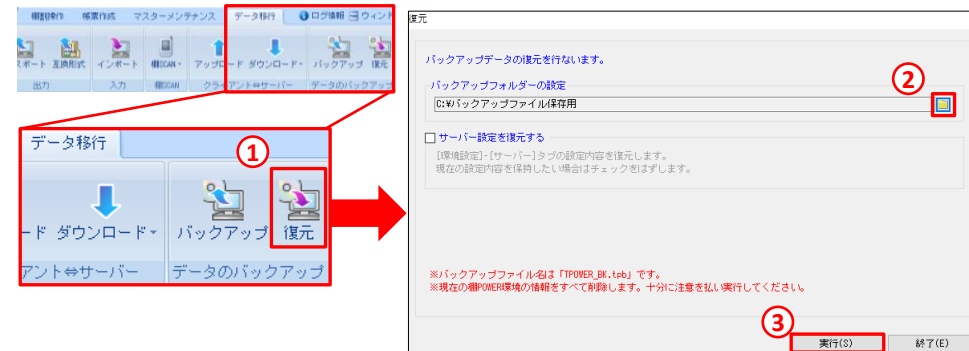
- ① [データ移行]タブ-[バックアップ]を選択します。
- ② 「バックアップフォルダーの設定」をクリックし、フォルダーの参照よりバックアップデータを出力するフォルダを指定します(出力場所に制限はありません)。
- ③ 容量確認が実行されるため、空き容量が最大必要容量よりも多いことを確認します。
- ④ [実行]をクリックします。
- ⑤ バックアップ処理が完了すると②で選択した場所に「TPOWER_BK.tpb」ファイルが作成されます。

【注意】

- ・外部棚割モデルはバックアップの対象には含まれません。
- ・データのバックアップを実行する前に棚POWERに保存されているデータに問題ないか確認したい場合には、[マスターチェック]をご利用ください。
- ・棚POWERに保存されているデータ量によってバックアップファイル作成の時間は異なります。

2. バックアップファイルのデータを復元する

「1. 棚POWERの全データのバックアップファイルを作成する」で作成したバックアップファイルは、[データ移行]タブ-[復元]を実行することで、バックアップをとった元々の棚POWERと同じデータや環境設定で使用できるようになります。



■ 操作手順

- ① [データ移行]タブ-[復元]を選択します。
- ② 「バックアップフォルダーの設定」をクリックし、フォルダーの参照より「TPOWER_BK.tpb」ファイルが保存されているフォルダを選択し、[OK]をクリックします。(「TPOWER_BK.tpb」ファイルは表示されません。) ※自動ダウンロード機能を利用している、サーバーから商品をダウンロードしている場合には、「サーバー設定を復元する」にチェックを入れてください。
- ③ [実行]をクリックするとバックアップファイルの復元が開始されます。

【注意】

- ・復元を実行すると復元側に登録されていた棚POWERデータは初期化されます。既存のデータを残す場合に復元実行前に[データ移行]タブ-[エクスポート]よりデータをエクスポートして退避してください。
- ・上位のバージョンの棚POWERで作成したバックアップは下位のバージョンの棚POWERで復元はできません。バックアップを作成した棚POWERと同じか上位のバージョンで復元してください。

よくあるご質問コーナー

ユーザーの皆様よりたくさんのお問合せをサポートセンターにいただいております。このコーナーでは、その中からよくあるご質問を厳選してご紹介します。



棚割図や棚割表のExcelファイルを棚POWERに直接取り込み、棚割モデルを再現することはできますか。

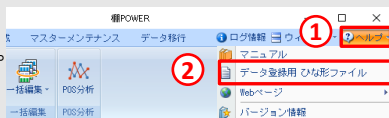


棚割図や棚割表から直接棚割モデルを再現することはできません。棚割の再現が可能な「陳列状況」のひな形ファイルを利用して棚POWERにインポートすることで棚割モデルを再現できます。

操作手順

陳列状況ファイルを保存する

- ①棚POWER画面右上の[ヘルプ]をクリックします。
- ②[ヘルプ]→[データ登録用ひな形ファイル]をクリックします。
- ③[データ登録用ひな形ファイル]より「陳列状況」ファイルを保存します。
- ④「陳列状況」のExcelファイルを開き、必要項目を入力してExcelファイルを保存します。
※必須項目は台・段、共通商品コードです。



TPOWER MDL	台	段	列	フェイス	積上	共通商品コード
ゴンドラNo	1	1	1	4	1	4909411045395
	1	1	2	4	1	4902102077354

陳列状況ファイルを棚POWERにインポートする

- ①[データ移行]→[インポート]を開きます。
- ②[インポート情報の選択]画面で「陳列状況」ファイルがあるフォルダを選択します。
- ③[該当情報]項目の「棚割モデル情報」を選択し、[次へ]をクリックします。
- ④[実行]画面より棚割モデル情報→[詳細設定]をクリックします。
- ⑤[詳細設定]画面で棚割モデル名称を入力し、[設定]します。
- ⑥[実行]をクリックすると、陳列状況ファイルは内部棚割モデルとして保存されます。

陳列状況ファイルには什器情報の記載はないため、台高や台幅はインポート後に設定してください。



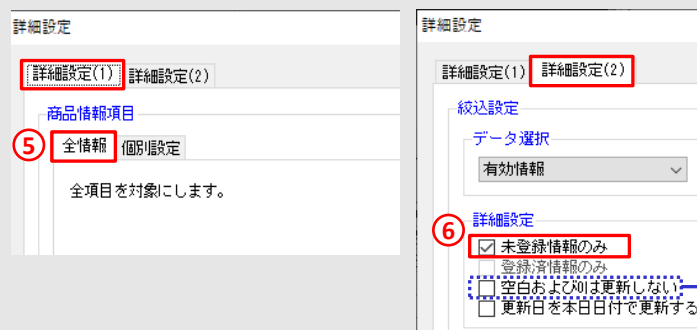
社内の方から商品情報もらったが、自分の棚POWERに既に登録している商品も含まれているため、登録がない商品のみ登録したいです。



商品情報のインポートの際に、既に登録している商品は取り込まず、インポート先の棚POWERに登録がない商品のみ取り込むことができます。下記に操作手順をご案内します。

操作手順

- ①[データ移行]→[インポート]をクリックします。
- ②[インポート情報の選択]画面で「商品情報」ファイルがあるフォルダを選択します。
- ③[該当情報]の項目に「商品情報」を選択していることを確認し、[次へ]をクリックします。
- ④[実行]画面で商品情報→[詳細設定]をクリックします。
- ⑤[詳細設定(1)]タブより商品情報項目は[全情報]タブを選択します。
- ⑥[詳細設定(2)]タブより「未登録情報のみ」にチェックを入れ、[設定]します。
- ⑦[実行]をクリックし、商品情報のインポートを実行します。



「空白および0は更新しない」を有効にすると、既存の商品を更新する際に、空白の項目を無視して更新できます。

棚POWER・店POWER WEBサイトでもよくあるご質問を公開しています。操作中にエラーが出た場合や不明点があればご活用ください。

棚POWER® Q&A

<http://faq.tanapower.com/>

棚POWER・店POWER WEBサイトトップ >> ユーザーサポート >> Q&A (よくあるご質問)

棚POWERをご契約いただいている正規ユーザー様のみ、棚POWER・店POWER WEBサイトにて「棚POWER インフォメーション」のPDFを閲覧・ダウンロードいただけます。

正規ユーザー様のみ、閲覧に必要なユーザーIDとパスワードをお伝えしています。

棚POWER Ver 9.00のリリースについて

毎年6月に棚POWERをリリースしておりますが、棚POWER ver9.00のリリース時期につきましては現時点で未定です。リリース時期が決まりましたら、弊社ホームページやメール配信にてお知らせいたします。